

ぱすてる

- ・家庭の中の男女共生
- ・身近なDV
- ・気軽に仲間づくり



お知らせ

講演会のご案内



音楽家
タケカワ
ユキヒデさん

「男女共同参画づくり講演会」を開催いたします。
講師 ● タケカワユキヒデさん
日時 ● 平成16年1月25日(日)
午後1時30分から
▼会場など詳しいことが決まりました
しだい「広報はすだ」でお知らせいたします。

「ぱすてる」とは？

子どもの頃から女はピンク、男はブルーと従来の固定概念にとらわれてしまっていることが多いようです。男女が性別にこだわらず自由に好きな色を選べ、柔軟な発想ができることを理想としていきたいと願い、柔らかい中間色という意の「ぱすてる」をしました。

ビデオテープ貸出し

個人・団体に貸出しています。

- ならんで一緒に歩きたい
男女共同参画社会づくりに向けて 16分
 - 21世紀はみんなが主役
男女共同参画社会基本法のあらまし 23分
 - 地域こそって子育てを！
薬丸裕英が聞く樋口先生の育児支援ガイド 28分
 - 根絶！夫からの暴力
あなたは悩んでいませんか？ 27分
 - ドメスティックバイオレンス
家庭内における女性と子どもへの影響 25分
 - ドメスティックバイオレンス
どうして私を殴るのですか
～妻や恋人への暴力は犯罪です～ 25分
- 問合せ ● 市民が主役推進課女性政策担当 (内線278)

女性人材リスト登録者募集

蓮田市では、市政や地域の発展に積極的に参加していただける女性を募集しています。応募していただいた方は、「蓮田市女性人材リスト」に登録させていただきます。市の審議会や委員会等の委員等を選出するときの資料として活用させていただきます。女性の社会への参画を推進します。
詳しくは、市民が主役推進課女性政策担当(内線278)までご連絡ください。

編集員紹介

編集取材で、様々な人生の機微に触れ、人、それぞれの有様を学びました。初参加の私にとって貴重な経験になりました。「二期一会」出会いに感謝!!
金盛日出子

ぱすてる編集員になって2年目。新しいメンバーと充実した日々を過ごすことができました。何気なくすごしている毎日でも多くの人に支えられていることを実感しました。感謝!
川崎 直美

初参加の編集作業、伝えたいことを限られた紙面の中で忠実に活字にすることの難しさを改めて認識しました。早野 裕子
密度濃く充実した会議の連続。編集員の出会いがいくつもの思いやりを生みました。かけがえない仲間たちです。半田 昭子
文章は、いろいろな出合いがあつてこそ書けるものだ。ということを今、度思いました。出会いに感謝します。三木 真智子
何気なく読んでいた「ぱすてる」で新鮮な体験ができました。まるで蓮田の皆さんの活動には勇気付けられました。
箕田 忍

「男女共生」は、性別の違いはもちろん、肩書き・立場を越え相手の人格(個性)を理解し、認める努力から!
飯野 和之



蓮田市男女共生情報紙
第5号. 2003. 11

発行/蓮田市役所市民経済部市民が主役推進課 〒349-0193 蓮田市大字黒浜2799-1 ☎048-768-3111 内線278

100 古紙配合100%再生紙を使用しています

みなさんの家庭では？

Aさん 私が育った所はいわゆる男尊女卑の土地柄で、何でもかんでも男が上、女は二の次という考え方でした。自然と、男は外で働き女は家にいるという考え方になりましたね。結婚しても家事はすべて妻がやるべきと思っていました。

でも一年間単身赴任をして、何もかも自分でやらざるを得ない生活を体験しまして、それからは家事を手伝うようになりました。妻へのいたわりの気持ち

につながればいいと思います。

Bさん うちの夫が働いて私は仕事をしていませんが、養われているという意識はなく、夫婦は平等だと思っています。むしろ私が家庭にいるからこそ夫は働きに行けると思います。

でも、夫も子どもたちも結構いたわってくれて、精神的には楽をさせてもらっている気がします。ただ家族はみな男ばかりなので、将来私が入院したり病気になったりしたら、頼りにで

きないなど今から少し不安になります。

Cさん うちの主人もたまに私が寝込んだ時、自分では何もやらず、同居の親がやってくれました。もともと男が家事なんてという考え方の人なので。家の修理やエアコンの掃除はやってくれますが、日常の家事は私の仕事なので何となく私だけがやらされている気分になってしまいますね。

当初、家事は特に分担を決めず時間のある方がやるようにしていました。現在は家のことは妻に任せていますが、できる限り協力したいと思っています。やっておいた方がいいかなという自分の気持ちの折り合いです。土日は妻がパートに出てしまうので、掃除や子どもの世話は私がしています。

Dさん 私は家事をやりません。買い物ぐらいでしょうか。スーパードと結構好きなので、チラシも見えています。昔は、掃除、洗濯、ゴミ出しなんて男の仕事じゃないと思っていましたが、年が経ってだんだんと考え

家庭の中の男女共生

「男女共生」ということばをご存知ですか？最近よく聞くことばだなという方、よくわからないという方。そんなみなさんの代表者にお話をうかがいました。さて、どんなお話が出ましたでしょうか。



Eさん うちの主人もたまに私が寝込んだ時、自分では何もやらず、同居の親がやってくれました。もともと男が家事なんてという考え方の人なので。家の修理やエアコンの掃除はやってくれますが、日常の家事は私の仕事なので何となく私だけがやらされている気分になってしまいますね。

でも思いがけない時の感謝の言葉は、うれしかったですね。ただ、息子には何でもひと通りできるように教育するつもりです。

Dさん 私は社内結婚したので

当初、家事は特に分担を決めず時間のある方がやるようにしていました。現在は家のことは妻に任せていますが、できる限り協力したいと思っています。やっておいた方がいいかなという自分の気持ちの折り合いです。土日は妻がパートに出てしまうので、掃除や子どもの世話は私がしています。

Dさん 私は家事をやりません。買い物ぐらいでしょうか。スーパードと結構好きなので、チラシも見えています。昔は、掃除、洗濯、ゴミ出しなんて男の仕事じゃないと思っていましたが、年が経ってだんだんと考え



関根 智さん
見沼町在住



大塚武夫さん
西城在住

方も変わりました。今ではたまた料理も作ります。ゴミ出しも重いだろうと思って二回に一回は出すようになりました。

Eさん 妻には、自分の母親を手伝ってもらっているのがあるがたいと思っています。自分ができることは、言葉だと思いい、何かにつけ「ありがとう」と言っています。

また、妻のことを外でなんて言うかいつも考えているんですけど、「家内」では家に閉じ込められているような人もいて、今は「妻」と呼んでいます。

Cさん 結婚当初、外で「嫁さん」と言ったら「自分の女房に

さん付けはないだろう」と言われ、納得いかなかったですね。なぜ自分の好きになった人にさん付けをしていけないんだろうと思いました。家事に関しては、私も彼女も仕事をしていますので、かなり手伝っています。共働きをする以上、家事を手伝うのは当然ということでは分かってはいたけれど、つい甘えが出てしまっって、最初はかなりぶつかりました。

でも彼女一人でも何もかもでは、時間的にも体力的にも厳しいし、二人の、また家族の時間を大事にしたいし。結局私も率先してやるようにさせられてしまったような。子どもの学校行事も夫婦で一人前というつもりで私も積極的に参加しています。

Dさん 結局、お互いが相手を



黒須淳一さん
関山在住



成田能祥さん
椿山在住

理解し、協力することが必要なのではないでしょうか。私自身様々な地域活動をやっていられるのも、妻の理解と協力があるからだと思っています。

家庭の中の男女共生とは？

Aさん 家事を分担したり、協力したりすることだけが男女共生なのでしょうか？それも一つだとは思いますが、それだけではないと思います。お互いに何を思うか、何を感じているかが伝わっているかということが重

要ではないのでしょうか。

Cさん PTA等に参加し、様々な場でたくさんの人と知り合うことができました。私がこころした活動をするのを「行ってこい」と主人が認めてくれることが、共生といえるのかな

と思います、感謝しています。

Eさん 家庭の中で、家族が円満に生活を営めることが男女共生だと思っています。

Bさん 共生って何？共生って何をしたらいいの？？私は自分の考え方でいいと思ってきたんです。

でも結婚以来、私たち家族もきつと共生してきたのだと思います。そうでなければ続かないでしょうから。

Dさん これが共生のあり方だ、というものはないのですが、家庭が円満であることが共生の姿といえるのでしょうか。

Eさん 私は共生の意識は持っています。でも共生できなかつたら離婚していいでしょうね。

Aさん 世の中で男女が共に仕事ができる社会、お互いを認め合っていたわりあえることが男女共生といえるのではないのでしょうか。

Cさん 何か問題が起こった時、お互いが最初の相談相手になれることが共生だと思います。私も、これから彼女と共生し合っって成長したいし、よい家庭をつくっていききたいと思っています。

DVは「犯罪」です

夫・妻・パートナーから、次のような行為をされ、苦痛に思っていれば、それは、**ドメスティック・バイオレンス(DV)**です。

- 1 殴る、蹴る、物をぶつける、やけどをさせる、刃物やその他凶器になるものをふりかざしおどす、一晩中眠らせないなどの**身体に対する暴力**
- 2 「誰のおかげで生活できるんだ」「何の役にも立たない」「くず」など、あなたの心を傷つけ、人格をおとしめるような暴言をあげせる。
 - 交友関係や電話、郵便物を細かく監視する、家族や友人、行政などのサービス機関とのつながりを断つ、または断たせるようにしむけるなど、行動を制限する。
 - 大切にしている物をこわす、捨てるなど、あなたの心を傷つける行為をするなどの**精神的暴力**
- 3 望まない性的な行為の強要、避妊に協力しない、見たくないポルノビデオや雑誌を見せるなどの**性的暴力**
- 4 生活費を負担しなかったり、小額しか渡さなかったり、仕事を無理やりやめさせるなど**経済的に圧迫する行為**

多くの場合、このような暴力は重複してふるわれ、長期にわたることもあります。回数が少なかったり期間が短くても、あなたを萎縮させ、心理的に支配することもあります。**暴力をふるう人の責任をあなたが負う必要はありません。**その責任を負い、暴力をやめさせることができるのは、暴力をふるったその人自身だけなのです。

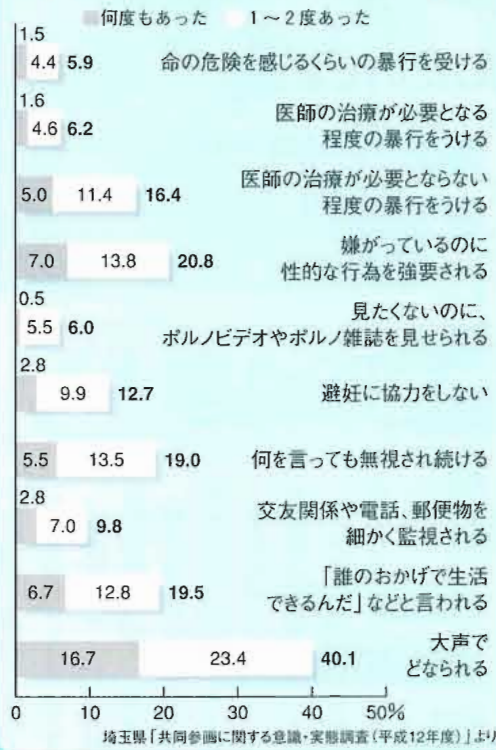
これってDV?

- 1 長い間、夫はまともに私と向き合って話をしてくれません。口を開けば「おまえは馬鹿だ!」「どうしようもないやつだ!」と見下すことば。**私を能無し扱いするのはやめて。**
- 2 私は25年間、夫から「いてもいなくてもいい存在」と思われているようです。家政婦のように扱われています。私はここにいるのです。**せめて私の名前を呼んでください。**
- 3 「男は無口でいいんだ」と思っている夫。彼の性格はわかっているつもりです。でも、時々思いどおりにならないことがあると手が出る。**言いたいことがあったらことばで言って!**
- 4 会話の途中で気に入らないことがあると、突然暴力をふるうあなた。気に触るようなことを言った私が悪いのです。あなたを怒らせないように、**私は毎日、ビクビクして過ごしています。**
- 5 普段はやさしくて、お人好しで、気の小さい夫。そんな夫が、ほんの少しのきっかけで悪魔のようになってしまふ。私は怖くてうずくまってしまいます。自分と子どもの身を守るのに精一杯。でも、**あの人には私がいないとダメなのです。**

このような話は、日常的な光景と思われがちです。自分を振り返った時、思い当たることもあるかもしれません。そして「性格だからしょうがない」とあきらめているかも知れません。でも「DVだ!」と考えてみたら救われませんか…?

本当の自分を取り戻してください。

夫からのこんな暴力が… 17人に1人は命の危険さえ!



夫からの暴力をなぜ相談しない? 勇気をだして相談しよう!



配偶者暴力相談 支援センター

被害者の相談、カウンセリング、一時保護を行います。また、被害者の自立支援のためや、保護命令を利用したり、シェルターを利用するための情報提供を行います。なお、埼玉県では婦人相談センターが、配偶者暴力相談支援センターの機能を果たします。

一人で悩まず
相談を!!
(無料相談)

- 婦人相談センターDV相談室 (配偶者暴力相談センター) ☎048-600-6060
- 岩槻警察署(生活安全課) ☎048-757-0110
- 蓮田市役所(子育て支援課) ☎048-768-3111

共に生きる…
まろにえ蓮田



まろにえ蓮田は、蓮田市内でも数少ない、男女でボランティア活動をしている団体です。いきがい大学伊奈学園の卒業生で構成されており、現在のメンバーは女性13名、男性33名です。メンバーの方たちは、昔遊びを通して子どもたちとふれあう「子ども講座」を開催したり、各団体からの要請を受けて、介助を必要とする方たちの病院などへの送迎や、買い物付き添い等を行ったりしています。

皆さんの声をご紹介します。

- ふれあい行事を通じて、子どもたちの笑顔に触れたとき、また介助ボランティアで感謝されたときは役に立っているのかなと思う。
- ボランティアは参加できるのから参加すれば良いのでは？地域で挨拶から始めてもいいですよ！
- 男だから女だからと特に区別しないで、相手の立場を考慮してお互い思いやりを持ち、協力し合うことが大切なのでは？

皆さんのパワーと力強いメッセージをいただきました。

＊ ＊ 色々な活動をのぞいてみました ＊ ＊

子どもといっしょにチャレンジ！
ボーイスカウト

ボーイスカウトは、キャンプや奉仕活動を通じて、学区や学年を超えた地域社会における教育活動を行っています。その目的は、子どもたちを自ら幸福な人生を切り開くことのできる社会人に育てることです。

また、活動に参加することは、大人にとってもひとつの挑戦です。それは、子どもたちと活動することで世代間の隔たりを乗り越え、新しい体験を積み、互いに成長するからです。

実際に「蓮田第一団」で活躍している指導者の方々にお話をうかがいました。

- 子どもの頃にボーイスカウトに入っていたので再び活動に関わることになりました。
- 身近に活動している人がいたので親子で参加するようにになりました。
- 子どもたちのキラキラした目の輝きや笑顔を見られることが喜びです。
- 指導者として、男性、女性ということにとらわれず、一人ひとりの特性を生かしたいです。未来を担う子どもたちのためにも、ますますのご活躍を期待しています。

気軽に仲間づくり その先に… ＊

前頁のグラフから、現在参加している活動は、男性・女性とも身近で直接的なものが多いようです。

また、今後参加したい活動では、環境・介護などの社会的な活動や文化スポーツなどの趣味への意向が多いようです。

ご紹介した「まろにえ蓮田」は、同じ世代の仲間たちとボランティア活動を通じて他人のために役立つ喜びや、生きがいを感じる活動を行っており、「ボーイスカウト」は、子どもたちとふれあい、喜びや苦勞を分かち合い、そして、子どもたちの成長を間近に見ることができると感じています。

私たちは、今回の取材を通じ、「地域活動」は、ほんの少しのきっかけで参加することができるのだということに気付きました。また、活動に参加している人たちの共通点は、男性・女性とも自立し、「今できること」「好きなこと」を素直に、そして無理せず活動していることであることにも気付きました。ほんの少しの勇気と思いや心が活動の源泉なのかもしれません。多くの人が、「自己実現・地域での役割・男女共生のあり方」等を経験の中で理解し、実践していることでしょう。

私たちは、「地域活動」が地域社会の核となることによって、真の男女共同参画社会が実現するのでは？と感じました。

気軽に
仲間づくり

(((あなたはどんな地域活動に参加したいですか？)))

